

第二号



## 特集



--- 荒川ならではの情報をお伝え中 ---

今月の特くりっぷは…**⛩**

# 伏見稻荷大社



## ～伏見稻荷大社～

奈良時代の和銅四年（711年）の二月初午の日に、稻荷大神様が稻荷山にお鎮まりになったことに始まる。

昨年は、稻荷大神御鎮座1300年を迎える、修復された御本殿や各社殿も色鮮やかに、五穀豊穣・商売繁昌・家内安全の神として、全国の人々から厚く信仰されています。

▲修復された楼門



## 伏見稻荷大社に信仰が厚い社長は毎月おいなりさんに！



毎月、1日の朝7:00

私は「おいなりさん」にあります。

そう伏見稻荷大社月参りの日です。朝一番に本殿を参拝し「奥社」を通って「四ツ辻」から「荒神峰」まで、途中お参りしながらの往復約50分の道程です。もともと先代が稻荷様に出入りさせていただくようになってから、1日にはお参りするようになったもので、それを受け継いでいます。と言っても「仕方なく」ではなく、いつの頃からか信仰心から参拝していますが、正直なところ「もし途中でやめて何かあったら…」と言う不安もあるので。

寒い日や暑い日はつらいですが、四ツ辻まで上がると景色も良く、晴れやかな気分になるので元気が出ます。これらの季節は青葉も鮮やかですし足腰の為にもゆっくり登れば良い運動になるので、ぜひ機会があれば登ってみられては。

# ⛩稻荷祭⛩

伏見稻荷大社のお祭、稻荷祭。中でも神幸祭と還幸祭は御出で・御帰りの祭として知られています。現在では、神幸祭は4月下旬の日曜日（今年は22日）、還幸祭は5月3日となっています。

### ●神幸祭

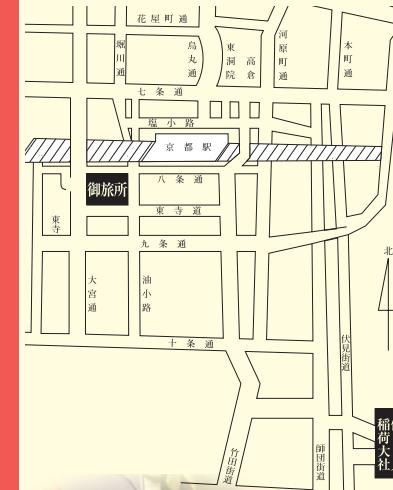
五基の神輿が御本社裏参道より西へ出て竹田街道を七条通まで北上します。そして、大宮通りを南下し東寺を右目にしながら東寺道を東へ。御旅所南門より入り座されます。その後、還幸祭当日までこの御旅所にて氏子たちの参詣を受けられます。



▲昔は御輿を人力で担いだそうですが、現在はトラックを利用しています。実に雅やかです。

### ●還幸祭

5月3日いよいよ神輿は本社へと還られます。座をかまえた御旅所南門より南に十条通まで出たのち西に、そして大宮通を北上し五条、松原通を経たあと地域の氏子たちの厚い信仰を受けながら竹田街道を南下し御本社表参道より本殿へと還られます。



▲「オー」という神職の声（警蹕【けいひつ】）と共に、ご神体を入れた木箱が素早く覆いの中に隠されてご神殿に入っていく。警蹕【けいひつ】とは、そもそも神さまがお出になるときや膳を供える時に声を発して先を払う（前のものを取り除き清める）ことであり、神が降り立ったことを示す合図といわれています。



荒川印刷株式会社

京都市上京区楓木町通堀川東入 〒602-8036  
TEL(075)231-0889 FAX(075)211-5883

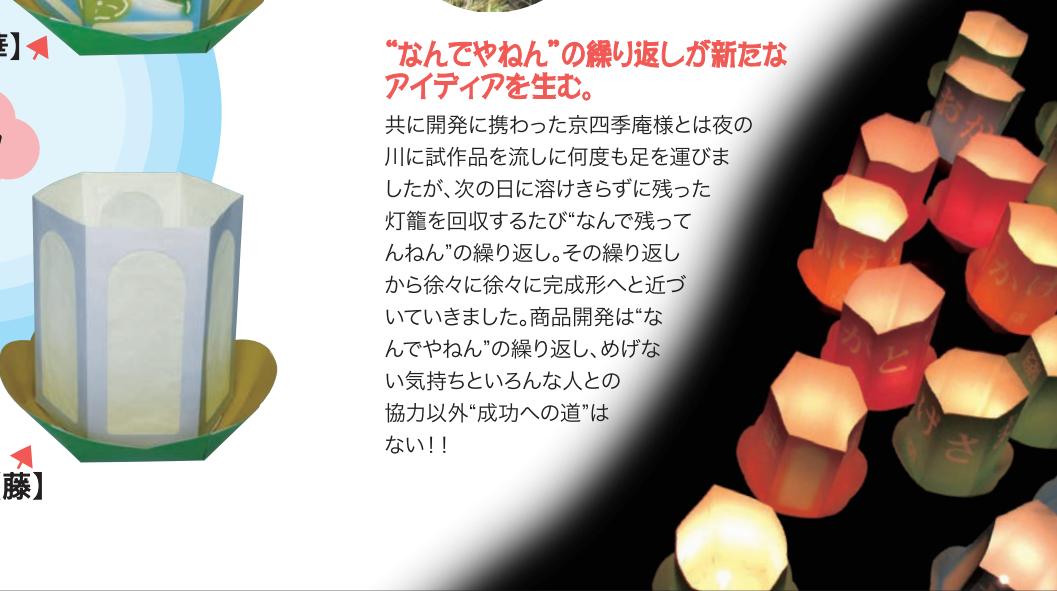
あらかわくりっぷ 第2号 2012年6月5日 発行

京四季庵製

# 流し灯籠

ご先祖さまの魂を弔う灯籠流しー。

弊社はこれまでにも有限会社京四季庵様と共に、華・藤・藍の三種類の灯籠を作成いたしましたが、回収作業に大変手間がかかることからご要望をいただき、この度、新たに水溶性の灯籠を開発いたしました。



## “なんでやねん”の繰り返しが新たなアイディアを生む。

共に開発に携わった京四季庵様とは夜の川に試作品を流しに何度も足を運びましたが、次日に溶けきらずに残った灯籠を回収するたび“なんで残ってんねん”の繰り返し。その繰り返しから徐々に徐々に完成形へと近づいていきました。商品開発は“なんでやねん”的繰り返し、めげない気持ちといろんな人との協力以外“成功への道”はない!!

## 川で実験スタート!



## 全体が崩れて来た!



## 溶けすぎず…溶けなさすぎず!?

水溶紙は本来数秒で溶けてしまいます。それを、ロウソクが灯されている30分間溶けないように水溶紙の厚みや加工を施し、水溶紙が溶ける時間を調整するのに苦労しました。当初は溶けすぎた水溶紙が加工後は逆に溶けなくなったり、微妙な調整をしながらより良い時間にするため何度も何度も実験を重ねました。



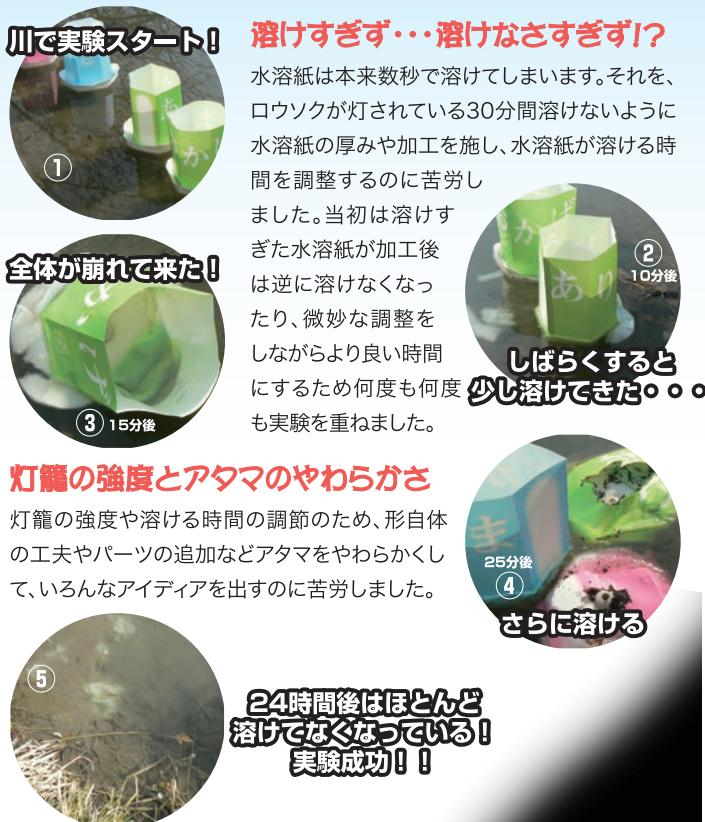
しばらくすると  
少しうるさい  
溶けてきた。。。



25分後  
④

さらに溶ける

## 24時間後はほとんど溶けてなくなっている! 実験成功!!



## 完成までの道のり

## ワンポイントビジネスマナー♪



あ……明るく

い……いつでも

さ……先に

つ……続けて

『あいさつ』は相手との距離を縮めてくれる、最も簡単な方法です。  
明るく、正しく!気持ちのよい挨拶を心掛けましょう。

## 社員のオススメ情報 & 社員紹介



誕生日……11月19日

年齢……5年

在籍都市……京都市

趣味……競馬、ジョギング

好きな言葉……急げるというわけではない、樂をする工夫をしよう

## 「脳」を鍛えましょう!

「脳トレ」がちょっとしたブームになっています。手近な方法としては指先の運動。これは長い話を覚えなければならない落語家さんがやっておられます。また、若い人はあまり馴染みがないかもしれません、「あやとり」も100種類くらいの形があるそうで指先の運動にはかなり良いそうです。私は、新聞のクイズ「クロスパズル」「数独」を毎週日曜日の朝にやっています。分からない時は辞書で調べて答えを探します。ページを捲るので指先には結構刺激になって良いそうです。また、探していた答えが見つかった時の気持ちは何とも言えません。そして答えが出ればハガキで応募します。なかなか当選しませんが、3年ほど前に現金5,000円が当たりました。それもまた大変嬉しいものです。ハガキ代を考えるとマイナスですが「脳トレ」にもなるし、また当選するかもしれないという楽しみもあります。皆様是非自分なりの「脳」を鍛える方法を考えて楽しい日々を送ってください。

## 編集後記

小林：今回私はサブメイン記事を担当することにより、インタビューや写真撮影等を経験しましたが、非常に難しく、どの作業にも奥深さを感じました。イメージのみで動くのではなく、きちんと知識や下調べをして臨むことが大切だと思いました。

赤倉：デザイン担当です。用意された文章、写真などを使い、どうしたらより見やすく、デザイン性が高いものを作れるのか…日々考えながら挑戦しております。

営業K：カタイ話ですが、5月連休の最後に旧友と我国の憲法について論議。結論として、旧憲法と当時の日本の成長と時代背景を、もっと広く世に知らしめるべきだと熱く語り同調しました。チョンマゲから50年もかからずに世界5指に入る国力を築いたあの歴史を、我々は教科書に20ページも満たない内容で伝えられている。久し振りの友人も同じことを考えていたことに感動です。